



国際会長 (IP) Henry Grindheim (ノルウェー)

“Let Us Walk in the Light—Together” 「ともに、光の中を歩もう」

“Fellowship across the Border” 「国境なき友情」

会長 舟田 正夫  
副会長 古賀 健一郎  
書記 伊藤 誠彦  
会計 古田 和彦  
直前会長 金子 功

アジア地域会長 (AP) Tung Ming Hsiao (台湾)

“Respect Y's Movement”

「ワイズ運動を尊重しよう」

東日本区理事 (RD) 栗本 治郎 (熱海)

「広げよう ワイズの仲間」

“Extension Membership & Conservation”

湘南・沖縄部部長 (DG) 金子 功 (横浜)

「Y'sの絆を強め、広げよう」

“Let's Tighten and Expand the Bonds of Y's Men”

横浜クラブ会長 (CP) 舟田 正夫

「YMCAとともに！」

“Together, with YMCA!”

監事 松島 美一  
ブリテン 古賀 健一郎  
野村 郁雄  
担当主事 青木 一弘

### <今月の聖句>

松島 美一

「お前は、自分で労することも育てることもなく、一夜にして生じ、一夜にして滅びたこのとうごまの木さえ惜しんでいる。それならば、どうしてわたしが、この大いなる都ニネベを惜しまずにいられるだろうか。そこには、十二万人以上の右も左もわきまえぬ人間と、無数の家畜がいるのだから。」

(ヨナ書4章10-11節)

### 今月のひとこと

### 「平和を求める祈り」

押川 幸男



8月は、72年前に広島と長崎に原子爆弾が投下され、その戦争の悲惨な歴史をもう二度と繰り返すことのない世界を願いつつ、平和について考える月であり、日本基督教団教会暦では、8月第一主日を、平和聖日礼拝としています。私の教会での今年のメッセージは、「平和を求める祈り」としました。

昨年から今年にかけて北朝鮮の核実験とミサイルの発射が相次ぐ中で、私たちの国も一触即発の危機に直面しているのも確かなことです。キリストの平和を信じる者として私たちは平和を求めて祈る、平和について思い巡らす時を持ちました。

「平和を求める祈り」は、アッシジの聖フランシスコに属するも

のと考えられています。彼は鳥に説教したと伝えられていますし、彼が清貧に生きたのは、イエスが12人の弟子たちを宣教に派遣する際に清貧を説いたマタイによる福音書10章のみ言葉に出会ったことが転機になったと言われています。

「行って『天の国は近づいた』と宣べ伝えなさい。ただで受け入れたのだから、ただで与えなさい。帯の中に金貨も銀貨も銅貨も入れてはならない。旅には袋も二枚の下着も、履物も杖も持って行ってはならない。」このみ言葉に出会い、ただちに聖フランシスコは履き物を脱いで裸足となり、革のベルトを捨てて縄を腰に巻いたそうです。聖フランシスコは福音書でイエスが命じていることをそのまま実行し、イエスの生活を完全に模倣しようとした。まさに「裸のキリストに裸で従った」のです。

のちにこのアッシジの聖フランシスコの伝記を読み、胸が震えるほど感動し、生涯その感動を胸に留め、彼を敬愛し、自身の修道生活の手本として生きたのが、マザーテレサでした。

彼女は「平和を求める祈り」をととても愛し、ミサの後に必ずこの祈りを祈っていたと言われていました。キリストを模範とした聖フランシスコ、そして聖フランシスコを模範としたマザーテレサ。二人に共通した「平和を求める祈り」は、現代の私たちへのとても大切なプレゼントなのではないでしょうか。私たちが平和を考えて祈るとき、まずこの祈りから始めましょう。聖霊の導きが確かに



## <2017年7月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F	
17名 (功労 会員1 名を含 む)	メソ 13名 メネット 0名 コメント 0名 ビジター 5名 ゲスト 0名 合計 18名	88 % (メーキャップ 1名を含む) 前月修正出席 率	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円	

## <8月の行事予定>

### CS (Community Service)

日	曜	時間	行事内容	場所
4-6			第24回AIDS文化フォーラム	かながわ県民センター
24	木	18:00	第一例会兼納涼会	驛の食卓

あることを信じて祈りましょう。

「私をあなたの平和の道具としてお使いください。憎しみのあるところに 愛を、いさかいのあるところに ゆるしを、分裂のあるところに 一致を、疑惑のあるところに 信仰を、誤っているところに 真理を、絶望のあるところに 希望を、闇に光を、悲しみのあるところに喜びをもたらすものとしてください。慰められるよりは 慰めることを、理解されるよりは 理解することを、愛されるよりは愛することを、私が求めますように、私たちは与えるから受け、ゆるすからゆるされ、自分を捨てて死に、永遠の命をいただくのですから。」

## 「7月クラブ例会報告」

金子 功

日時：7月13日(木) 18:30～20:30

場所：横浜中央YMCA501号室

出席者：青木、伊藤、今村、大江、大高、金子、神村、古賀、斉藤、野村、舟田、古田、松島

ビジター：加藤、小俣、若木(とつか)、今城、辻(つづき)

7月の例会は新事業年度を迎えるのキックオフ例会である。恒例に従って2016-2017年度の総会も同時に行われたが、形式的ながら金子湘南・沖縄部長の公式訪問も兼ねていたので盛りだくさんのプログラムであった。



例会は伊藤ワイズの司会により舟田新会長の点鐘によって開会された。点鐘に先立ち、簡単な儀式として金子直前会長より舟田新会長にギャヴェル(槌)が手渡された。ワイズ・ソング、ワイズの信条を唱和した後、予定していた田口ワイ

ズ(総主事)が欠席されたため、代わって古賀ワイズが聖書を朗読し聖句に対する所感を述べた。

ビジターは、とつかクラブより3人、つづきクラブより2人と多くの参加を得たが、その訳は例会に先立って辻剛部監事が湘南沖縄部の昨年度の会計監査を行い、そのまま例会に参加されたからであった。

司会者により総会成立要件を満たす定足数の発表があり、舟田会長を議長として直ちに総会に移った。総会は周到に用意された資料に沿って以下の通り議事に入った。第1号議案は前年度の事業報告で、金子前会長より月別ごとの活動報告に加え、会員の異動状況、会員の例会出席状況の他、金子前会長自身による実績評価が報告され承認された。第2号議案は各事業委員会報告であるが担当者の欠席もあり、活動報告の中で報告されたという理解で承認された。第3号議案は会計報告である。単年度の収支は5,839円の赤字であったが繰越剰余金で補填することで承認された。第4号議案のクラブ役員、事業委員はすでに決定された陣容で確認された。第5号議案の事業計画は昨年同様の構想が舟田会長から説明され承認された。第6号議案の予算案については収支のバランスが多少マイナスの予算案が古田会計より提案され多少の疑義が表明されたが今年度は繰越剰余金で補填することで承認された。今後の収支構造の改善が望まれるとの指摘もあった。

総会が無事終了した後は定例の例会ビジネスに移り今後の行事予定を確認し、ビジターの今城部ユース事業主査のハッピーバースデーを祝って7月のキックオフ例会を終了した。

## 「第1回 湘南・沖縄部評議会報告」

松島 美一

私たちの横浜ワイズメンズクラブは、横浜YMCA関係の他の5クラブ、沖縄2クラブと共に東日本区の湘南・沖縄部に属しています。2017年からの今年度、湘南・沖縄クラブの部長は当横浜クラブの金子功ワイズです。私たち横浜クラブは全員で金子功部長を盛り立てて行かねばなりません。

部則には「評議会は、部における最高意思決定機関である。」と明記され、「評議会は、部役員(部役員は、部長、次期部長、直前部長、書記、会計、事業主査及び部担当主事)及びクラブ役員(会長、副会長、書記、会計各1名)をもって構成し、役職を兼務しているときの議決権は1票とする。」とも決められています。

今年度第1回湘南・沖縄部評議会は7月15日(土)定刻14時より横浜中央YMCAで開かれ、議決権を有する出席者20名、委任状提出者18名で評議員会の成立が確認されました。

評議会議事は金子会長が議長となり、配布資料に基づき行いました。横浜クラブ会員には議事録と配布資料をメールの添付文書として配布済みです。議事録でお分かりの通り、前年度の事業および決算報告、本年度予算案、EMC委員会の設置、チャリティーラン実施要項は報告または提案の通り承認されました。

本年度主要行事計画の①9月16日開催予定の部会については原案通り承認されました。本クラブ会員は必ずご出席ください。②11月11日のワイズデー・チャリティー・コンサートと③Y-Y's合同新年会は時期を含めて計画を練り直し、再提案することになりました。この件についての皆さまのご意見を部役員にご提

案ください。

横浜クラブからの参加者は、青木、伊藤、金子、古賀、舟田、古田、松島の7名でした。

## 「エイズ文化フォーラム報告」

金子 功

8月4日(金)～6日(日)「第24回AIDS文化フォーラム in 横浜」が横浜駅西口に近いかながわ県民センターで開催された。今年のテーマは、「リアルとであう」で、知識だけでは他人事にしか思えないことを如何に現実の問題としてとらえることができるかを学ぶフォーラムであった。HIV感染者、入院中の病院から一時外出を許されて参加したA



オープニング挨拶される田口総主事

IIDS患者からも直接話を聞くセッションもあり、性教育に携わる教育関係者、病院関係、

看護学生等3日間の参加者合計は6,000人以上でした。

このAIDS文化フォーラム in 横浜は24年前に横浜で国際AIDS会議が開かれた後、横浜YMCAが事務局となって、各種市民団体を中心に実行委員会を結成して例年運営しているもので、ワイズメンズクラブ東日本区も協賛しているほか、湘南・沖縄部は組織委員会の一員としている協力をしている。オープニングでは田口総主事(横浜クラブ)が挨拶したほか、組織委員として湘南・沖縄部長の金子功(横浜クラブ)も挨拶をした。

AIDS文化フォーラムは今や京都、陸前高田、佐賀、名古屋でも開催されるに至っている。横浜クラブ参加者:大高、金子、田口、舟田

## 「ゲルニカと長崎」

古賀 健一郎



先日「ゲルニカ爆撃から80年になる追悼の日に合わせて長崎の原爆の被爆者たちがゲルニカを訪れた」との報道がされた。ナチス・ドイツがスペインの町・ゲルニカを爆撃し、1600人以上の命を奪った、世界初の無差別爆撃だった。亡くなった子どもを抱きしめ泣き叫ぶ母親、逃げ惑い苦しむ人々の姿があった。ピカソの有名な「ゲルニカ」はこの戦争の悲劇を描いている。キュビズムのこの絵画の、左の牛は暗さ、残忍さ、中央の馬は弱者、苦悩する民衆を表している。この戦いの後、人間の蛮行は歯止めなく規模を拡大し、第二次世界大戦へと移り、広島、長崎に投下された原爆では約24万人が犠牲になった。

無差別爆撃という悲劇に見舞われたゲルニカと長崎。悲しみを共有する2つの町の市民が交流し「憎しみを超えた平和への強い決意」を確かめあったそうだ。

県立長崎西高(私の母校)の前身は旧制中学であり、爆心地から0.8キロにある。原爆が投下された日、期末試験を終えて帰る100人余りの学生たちの命が奪われた。そしてほうぼうから焼けただれた被爆者が「水を」とうめき叫びながら浦上川に集まり、亡くなっていった。私は、学校の近くを流れる、この浦上川をいつも見つめながら高校生活を過ごした。先日の核兵器禁止条約採択において、唯一の戦争被爆国の日本が、核保有国と共に採択に不参加であったことは、無念の死に至った諸先輩を想うと嘆かわしいことだ。

戦争を経験した世代が減少しその記憶が薄れてきている。戦後YMCAが子どもたちへの平和教育に力を入れ、「平和で人間性の尊ばれる社会をつくる」為に、幼い時から平和について学びの場を与え、育てていることに共感を覚える。皆様と共に、私もまた、子どもたちに、平和への想いをしっかり語り継いでいきたい。

## 「今年中に囲碁五段を目指す」

伊藤 誠彦



今年、節目の75歳を迎えるので、以前から心積もりしていた通り、定年退職後継続していた「金融業界におけるIT活用の動向」をテーマにした社員研修の講師を止めることにした。

研修会社から、今迄使用していた教材の一部を、受講生が各自のPCやスマホを活用して自習できる、eラーニング用の教材に改訂して欲しいと要請を受けて、約300頁のパワーポイントのスライドからなる教材の改訂を行った。800～1,000字/頁のナレーションを作成し、元NHKの女性アナウンサーに音声を吹き込んでもらった。今後は教材の更新だけを行えばよく、教室での集合研修のために、東京まで泊まりがけで出かけて行く必要はなくなった。

少し余裕ができた時間は、趣味の囲碁に割くことにした。近所の人達との囲碁同好会の週一回の集まりには必ず出席、その他、日本棋院や地元横須賀市をはじめとする各種団体が開催する囲碁大会に個人戦・団体戦の形で参加している。

問題は腕前だ。やはり強くなりたい。しかし、70代も半ばになると、今迄通りのやり方では効果が上がらない。幸い、今では、PC囲碁ソフトが活用できる。AI機能に期待するのではなく、棋譜が残ることに効用を見出している。棋譜を見直すことにより、自分に足りない能力を自覚できる。これを、自分独自の棋力向上手段として活用すべく努力している。

とりあえずの目標は、今年中に五段になることだ。尤も、アマの段位に絶対的な基準があるわけではない。自分は強いと思いたい多くの老人が段位のインフレを招いていることも事実である。そのような事情も理解しつつ、いくつになっても棋力を向上させることができることを実証したい。

## 第二例会報告

古田 和彦

日時: 7月27日(木) 17:00～19:30

場所: 横浜中央YMCA501号室

出席者: 伊藤、金子、古賀、舟田、古田、松島(以上6名)

協議・確認・検討事項

- ① 今後の行事予定の確認
- ② 8月納涼例会は、予定通り、8月24日(木)18:00~20:30、驛の食卓で実施する。司会は遠藤ワイズ、式次第は伊藤ワイズが準備する。ハワイアン演奏・ポエポエの皆さんへの連絡等は今村ワイズに依頼する。
- ③ クラブ会計について協議  
伊藤ワイズから、過去のクラブ会計の推移とともに課題の論点整理が出された。現状の会員数で今後推移する場合、長期的には収支が償わない。横浜YMCAへの活動支援が増えてきている中、当クラブとしてふさわしい支援の基準を考えていく必要があることを確認した。
- ④ 9月5日(火) Y-Y's協議会(横浜クラブ担当)  
青木ワイズ作成の案内文を基に協議。ブランディングに関することは報告でなく意見も言える協議にすることとした。その他は原案通りで進める。
- ⑤ 9月16日(土) 第2回ワイズカップ幼児チャリティー室内サッカー大会  
当クラブとつぎクラブが支援している掲記サッカー大会に舟田、古賀、古田ワイズが参加する。支援金2万円を了承。
- ⑥ 卓話予定:9月:井上節子さん(シニアボランティア監査役・元教師)、10月:日本語科インドネシア留学生ハンナさん、アンナスさん、11月:YMCAブランディングについて(YMCA職員に依頼)
- ⑦ 8月号ブリテン計画
- ⑧ その他



担当主事 青木 一弘

■第20回横浜YMCAインターナショナル・チャリティーランのご案内

障がいのある子ども達を支援するために、10月14日(土)、みなとみらい21地区臨港パーク内特設コースで、チャリティーランが開催されます。現在、参加チームを募集しております。この活動の趣旨にご賛同いただき、多くの方にご参加いただけるようお願い致します。

日時:10月14日(土) 午前9:45(開会式)~午後2:30  
会場: みなとみらい21地区臨港パーク内  
参加費 :1チーム5万円  
申込締切:9月30日(金)

■九州北部豪雨緊急支援募金

7月5日から九州の北部(福岡県朝倉市朝倉、朝倉市杷木、東峰村、大分県日田市等)において豪雨が漸続的に続き、甚大な被害をもたらしました。多くの尊い人命が失われたことに加え、河川の氾濫による家屋の崩壊や床上浸水、農作物への被害と、多方面に深刻な影響を及ぼしました。福岡YMCAと熊本YMCAでは現地視察を実施し、西日本地区YMCAとして支援の具体的な内容を計画しています。そこで、横浜YMCAは全国のYMCAと協力して、緊急支援募金の呼びかけを致します。

みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

募金による支援内容

- ① 被災地復興支援ボランティア(短期)
- ② 被災地域の子どもの心のケアプログラム(中長期)



期間 7月16日(日)~9月30(土)

8月例会プログラム

日時:8月24日(木)18:00~20:30

場所:驛(うまや)の食卓

司会:古賀副会長

- 1. 開会点鐘および挨拶 . . . . . 舟田会長
  - 2. ワイズソング・ワイズの信条 . . . 全員
  - 3. 今月の聖句 . . . . . 松島ワイズ
  - 4. ビジネス・報告 . . . . . 舟田会長
  - 5. 食前感謝 . . . . . 松島ワイズ
  - 6. 乾杯 . . . . . 加藤ワイズ
  - 7. 食事・歓談
- 出席者自己紹介  
ウクレレ演奏 . . . . . 今村ワイズ、他
- 8. Happy Birthday : 田口努(5)、田口弥生(11)  
古賀健一郎(11)、押川沢江(21)、神村浩正(31)
  - 9. 閉会点鐘 . . . . . 舟田会長

例会報告:伊藤ワイズ

9月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
5	火	17:00	第78回Y-Y's協議会	中央YMCA
14	木	18:30	第一例会	中央YMCA
16	土	9:30~12:30	第2回ワイズカップ幼児チャリティー室内サッカー大会	中央YMCA
16	土	14:30	湘南・沖縄部部会	ワークピア横浜
28	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央YMCA

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール [aoki\\_kazuhiro@yokohamaymca.org](mailto:aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org)

電話 045-641-5785